



名嘉睦聡「部瀬名岬」

地球温暖化防止とサンゴ礁保全に関する国際会議

環境と共生した豊かな美ら島づくりをめざして

6/29^① 2013年 (敬称略)

13時～17時◎公開シンポジウム

場所：沖縄科学技術大学院大学(OIST講堂)

(日) <http://www.oist.jp/ja/node/1396/> (英) <http://www.oist.jp/access-map>

挨拶 環境大臣：石原 伸晃

沖縄県知事：仲井眞 弘多

沖縄科学技術大学院大学学長：ジョナサン・ドーファン

基調講演：ラジェンドラ・パチャウリ

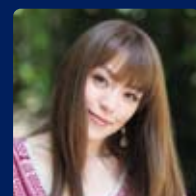
「気候変動の予測及び海洋生態系に対する影響」
(IPCC[気候変動に関する政府間パネル]議長/インド)



ラジェンドラ・パチャウリ氏

特別対談：今井 絵理子

SPEEDのメンバー。ソロアーティストとしても活動の他、講演会、執筆など、活躍の場を広げている。



今井 絵理子氏

[パネルディスカッション] 司会：涌井 史郎 (東京都市大学環境情報学部教授)
「自然と共生する島、島国のあり方～温暖化対策とサンゴ礁保全から考える」

[パネリスト]

アンドリュー・スキート (グレートバリアリーフ海洋公園局長 / オーストラリア)

エルブエル・サダン (官房長官・環境保護協会理事 / パラオ)

大城 肇 (琉球大学学長)

開 梨香 (NPO法人 日本エコツーリズム協会理事)

マリヤム・シャキエラ (環境エネルギー大臣 / モルディブ)



涌井 史郎氏



アンドリュー・スキート氏



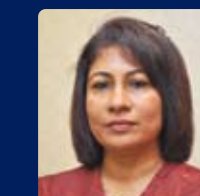
エルブエル・サダン氏



大城 肇氏



開 梨香氏



マリヤム・シャキエラ氏

6/30^② 8時30分～12時30分◎専門家会合 (会場：セミナールーム C209及びC210) [詳細は下記ウェブサイトをご覧ください]
14時～15時◎全体総括、閉会 (会場：セミナールーム B250) ※参加費無料

※応募方法：下記URLに掲載の参加申込書により下記FAX番号まで申込み、下記メールアドレス又はFAX番号まで[1]氏名(日本語及びローマ字表記)、[2]所属、[3]住所、[4]電話番号、[5]メールアドレス又はFAX番号、[6]参加希望日程(29日のみ、30日のみ又は両日 ※30日に参加希望の場合は参加予定の分科会番号も含む)、[7]交通手段(当日は県庁～OIST間の借り上げバスも運行します)を記載の上、お申込みください。(いずれか記載がない場合、受け付けできないことがあります) ※当日は身分証明書の提示をお願いします。

*全プログラムに日英同時通訳がつきます。URL: <http://www.env.go.jp/nature/biodic/coralreefs/icccrc2013/>

連絡先：地球温暖化防止とサンゴ礁保全に関する国際会議運営事務局 TEL 098-869-4220/FAX 098-869-4252/ Mail: coral-sympo2013@okicongre.jp



主催：環境省、沖縄県 / 共催：沖縄科学技術大学院大学(OIST)、琉球大学 協賛：(株)イーエーシー、イオン琉球(株)、いであ(株)、(有)沖縄環境地域コンサルタント、(株)沖縄環境保全研究所、沖縄県衣類縫製品工業組合 一般財団法人 沖縄県環境科学センター、沖縄県生コンクリート工業組合、一般財団法人 沖縄観光コンベンションビューロー、(株)沖縄チャンドラー、沖縄電力(株)、オリオンビール(株)、(株)建設技術研究所沖縄支社、(株)南西環境研究所 日本工営(株)沖縄事務所、(株)バスコ沖縄支店、八千代エンジニアリング(株)沖縄事務所、後援：NHK沖縄放送局、(株)エフエム沖縄、(株)沖縄タイムス社、沖縄テレビ放送(株)、宮古新報(株)、(株)宮古毎日新聞社、(株)八重山日新報社 (株)八重山毎日新聞、(株)ラジオ沖縄、琉球朝日放送(株)、(株)琉球新報社、琉球放送(株)



International Conference on Climate Change and Coral Reef Conservation